



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2016/10/30発行

第14号

第4回 中央ワークショップ

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

第4回中央ワークショップ

弘益の夢を抱き、より大きな「私」になる

15年後の自分に变身

10月15〜16日、伊勢にて第4回中央ワークショップが行われました。今回のテーマは「弘益の夢とビジョン」です。

初日の午前には、自分の夢に関連する小道具や衣装を用意し、15年後の自分を思いっきり表現したプロフィール写真撮影を行いました。



また、スポーツの秋にちなんで楽しいベンジャミン運動会を行いました。仲間と一つになるゲームや、相手の本当の価値を見つけて互いに褒め合う「ホメホメプレゼント」で生徒同士の絆が深まりました。



変化に対応する 柔軟性と創造力

メンター講義には、N T T スマートコネクト代表取締役・白波瀬 章氏をお招きし「夢とビジョン」をテーマにお話いただきました。「急速に変化する世の中で必要なのは、柔軟になること、自ら考えて創造する力」だとし、「一番大事なことは、弘益の価値実現を目標としてアクションすること」を強調されました。講義後も生徒から質問が相次ぎ、積極的な姿が見られました。



その日の午後は、15年後の自分について撮影したばかりの写真を見せながらスピーチし、お互いの夢を応援しました。



人間性英才の 生活のルール

翌日は、多くの地球市民を養成するための施設として準備中の「地球市民研修院」で、訪れた方が快適に過ごせるように心を込めてボランティア活動を行いました。



品川校長の講義では、ベンジャミン学校設立者である一指李承憲先生の「心が生きている人の生活ルール」のお話がありました。それぞれの限界を超えて自分の成長を確認し、弘益精神を抱いて地球経営のリーダーに成長できるように導いてくださいました。

誰と会ってもいつも笑顔で話すことや、「大変だ」「ダメだ」「できない」などの言葉は使わずに「どうすればできるか」と話すことが人間性英才として成長するために実践すべきだと確認しました。



ワークショップの最後には、4月に地震に見舞われた熊本を支援するベンジャミンプロジェクトとして、熊本に送る応援メッセージを書き、動画の撮影も行いました。



自分の夢を大きく膨らませて表現し、弘益の夢を育てる人間性英才へと成長した生徒たちは、11月に計画している人間性英才フェスティバルに向けて準備を進めています。



ベンジャミン人間性英才学校は

生徒が自己価値を高めて夢を実現できるよう導く1年課程の自己主導型代替学校です。「テスト」「成績表」「宿題」「教科授業」「校舎」のない環境で、地域社会や世間を学び合ひとし、様々な出会いや体験活動を通して自分自身を見つめ直していきます。ベンジャミン学校の特徴の一つである「メンター」のサポートを受けながら、世界に役立つリーダーへと成長していきます。



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題